



世田谷稲門会会報

ホームページURL : <http://setagayatou.mond.jp/>

令和2(2020)年12月18日

第 75 号

発行 世田谷稲門会
 発行人 旭 正勝
 編集 榎 並俊一
 秋山多美子
 兼子信秀
 大内昭俊
 若林昭俊

事務局 〒157-0062
 世田谷区南鳥山 3-4-10-4F
 TEL/FAX 03-5384-2435
 戸田、昇(とだ のぼる)



幹事・監事の

「今、言いたいこと」大特集!!

今号では、世田谷稲門会を縁の下で支えている、幹事・監事の皆さんの紹介を兼ねて、「今、言いたいこと」と銘打って、最近考えていること、コロナ禍で始めた事、紹介したい趣味などを特集しました。

(広報統括幹事 榎並 俊一)

令和3年

「新春懇親会」は中止

令和3年1月23日(土)に予定していた世田谷稲門会「新春懇親会」は新型コロナウイルス感染が収束しないため、残念ですが中止とさせていただきます。(詳細は同封資料参照)

世田谷稲門会



学生時代の思い出・野球同好会と六大学連盟

旭 正勝 (S41. 商、会長(新任)、けやき会)

今年6月の役員改選で会長に就任致しましたが、コロナ禍による活動自粛の継続で幹事会の開催も出来ず、オンラインでの対応で凌いでおりますが誠に残念な思いであります。年明けには新たな気持ちで楽しく活動を再開できることを切に願っております。

昭和37年、商学部入学と同時に野球部に入学し勇んで安部球場での練習に参加しました。その年の新入部員は約60名で10名程の甲子園出場者が含まれていました。私は早大学院で甲子園出場を目指し励みましたが残念ながら東京都大会ベスト8で夢を絶たれていましたので今度は神宮球場での活躍を夢見ていました。しかしながら夏の新人猛練習で体調を崩し退部してしまい痛恨の挫折感を味わいました。

その秋にまだ坊主頭のまま大隈庭園横の小道を通っていたところ、道沿いの鈴木運動具店の中から声がかかり呼び止められました。学院野球部の2年先輩でこの方が野球同好会の創設者だったのです。入会の勧誘を受け有無を言わず練習への参加を約束させられ、硬球と軟球の違いに悩まされながら野球同好会メンバーとしての一步を踏み出しました。

あれから半世紀以上の歳月が経ちましたが、同好会から部に昇格し現在は大学学生部公認の軟式野球部として東京六大学軟式野球連盟の運営も担い活躍を続けています。私は当部OB会長及び連盟副会長として現在もその活動

に関わっており学生諸君から若さと元気もらっています。

当時の同好会は草野球そのもので、球場も都内各区営球場を毎月の抽選で確保せねばならぬ状況でした。それでも神宮球場の六大学野球に倣い、東京六大学野球同好会連盟の創設に向け動き出しておりました。私もその活動に参加することで他校の仲間との縁を強く持つ様になりました。当初は東大を除く5大学でスタートしていた連盟も昭和45年に東大が加盟し、名実ともに東京六大学L号軟式野球連盟として再スタートを切りました。(L号は当時のボールの名称)



野球同好会 (卒業記念アルバムより)

その後、昭和53年に第1回全日本大学軟式野球選手権大会を開催、同55年秋には東日本大学軟式野球選手権大会も発足し、以降現在まで充実した活動を継続してきております。中でも自負したいことは、部の運営は元より連盟の運営に至るまで全て各校の学生部員が自主的に担当し続けていることです。

毎年担当学生部員は交代しますがその伝統は受け継がれ、来年は連盟創立60周年を迎えることとなりました。祝賀行事には可能であれば担当経験者全員が集まり思い出話の輪を広げられたらと今から期待しているところです。



学生時代

國澤 俊一 (S43理工、幹事長、きぬた会)

早大学院の3年間は学業そこそこに水球というマイナーなスポーツに没頭していた。当時の早大学院は関東地区ではトップクラスで、インターハイ、国体の常連校であったが、全国では3位止まり。その悔しさもあり大学は理工学部が決まっていたが水泳部に入部した。高校卒業前には担任で水泳部顧問の恩師に、水泳部に入ったら勉学が疎かになり4年間で卒業は絶対無理と言われた。西武線東伏見駅前の稲泳寮には競泳・水球・飛込の3部門に、全国からスポーツ推薦されたトップアスリート50名ほどが寮生活をしていた。入寮に際して自宅より勉強用の立机を持ち込んだものの、布団山積みの8畳部屋に邪魔だと文句を言われた。誰も勉強なんてしないスポーツエリートばかりである。

高校時代に東伏見プールに通い知っていたつもりも、あまりに違う現実で退部も考えたが、暫く耐えてみようかと思いとどまった。

新人と呼ばれた1年生生活は監獄の囚人と同じようなもの。早朝からの配膳当番、部屋・便所他の掃除、練習後の先輩へのマッサージが年間続く。理工学部であったた

め授業は優先的に出ることが許されていて、唯一の自由時間であった。

今の世の中だったら警察沙汰になるようなシゴキも稲泳寮では日常茶飯事であった。プールサイドのコンクリートに正座させられ1時間以上お説教を聞く、「新人集合」という儀式が1年間続いた。俺たち上級生になったらこんなこと絶対止めようぜと言いながら3年になったら全く同じように儀式をしていた。

不思議なもので、そのような過酷なシゴキを乗り越えたと同期の団結は固くなり、現在でも兄弟のような付き合いが続いている。

水泳部に在籍したまま、学業は多分最下位で苦勞の末4年間で卒業しました。



大学3年夏 後列左端▶



責任ある「セルフジャッジ」

戸田 昇 (S47政経、事務局長、千歳会)

近年のSNSによる誹謗中傷、「死ね」とか「馬鹿」など一方的な罵詈雑言には腹が立ちます。新型コロナウイルス感染が問題になってからは特に過激になっているようです。自分の名前を明らかにせず、無責任な、そして何より言葉が汚いです。このような投稿を見ると、相手に対する敬意や思いやりのカケラも見えません。自分を何様だと思っているのでしょうか。

かく言う私も、ふと人を傷つける言動をしたのではないかと感じて反省することがあります。

私は社会人になって始めた草テニスを趣味として楽しんでます。テニスの試合はほとんど「セルフジャッジ」で行われており、相手ボールをジャッジするときは、フェアプレーを心がけなければなりません。ネットより自分側のコートを手ジャッジしますが、判定が難しい場合は相手有利の「グッド」です。

私の好きな言葉のひとつに「実るほど頭を垂れる稲穂かな」があります。早稲田大学の名前ともつながるようで、親しみも感じます。誰でも一人では生きていけないわけですから、謙虚な気持ちを持って、互譲の精神で過ごしたいも

のです。そして、フェアプレーを意識した、的確で責任のある「セルフジャッジ」を下せるよう心がけていきたいと思っています。





密

真木 郁 夫 (S40理工、副会長、ブロック会統括、玉川会)

コロナにより「密」が悪者になった。

私が幼いころ、あるとき急に母に抱きしめられ、キスの嵐にあった。何か母に気に入られることをしたのか、理由は分からない。幼なごころに母の愛情を感じた。

当時、寝るときは父母との間で、川の字だった。両親との距離が近ければ近いほど、安心感が増し、ゆっくりと眠れた。移動するときは、必ずオンブだった。母の背中の中を常に感じていた。

最近電車のベビーカーで、ヒステリックに泣いている子を見ると、抱いてやれば良いのと思う。親子は密に触れ合うことが大切なのだ。

青年時代、女性との付き合いは「密」そのものだった。初めて手を握った時、身体中に電気が流れた。喫茶店での会話、一人の席に二人で腰掛けた公園のベンチ、映画館、つねに彼女はすぐ触れられるところにいた。

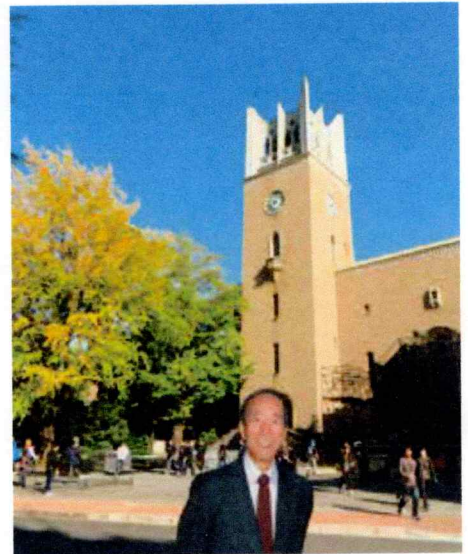
先日親戚の女性から電話があり、息子F君とその子供Y君との関係が、最悪な状態になり家出も考えられるとのことだ。Y君は勉強もせず、ゲームばかりしており、親の言う事は聞かず、会話もない。父親のF君の「出て行け」

の一言は時間の問題だそうだ。

F君と会って、こう言った。「『出て行け』は、いつでも言える。一度Y君と二人きりで、飲んだらどうだ。お互いの怒りをぶつけあい、言葉が格闘するような、息遣いが分かる密な距離で飲むんだ。それから考えよう」。

「密」は、人と人を結びつける礎だ。コロナが収束しても、ソーシャル・ディスタンスとか、テレワークとか、テレビ会議など人と離れて付き合う新しい風習が残りそうだ。

世間についていけない年寄は、どう生きていけば良いのだろう。



ハトシェプスト女王像

林

馨 (S45理工、副会長、事務局統括、玉川会)

古のエジプトの女王と言えはクレオパトラがあまりにも有名ですが、彼女から遡ることおよそ1400年、古代エジプトで唯一歴史に名を残した女性ファラオ、それがハトシェプスト女王です。

彼女は夫トトメス二世没後、夫の妾腹の子トトメス三世が成人になるまで22年間ファラオとして君臨しました。その治世は女性らしく平和的に、主として貿易でエジプトを発展させたと言われています。彼女が造った歴史的建造物と言えば『ハトシェプスト女王の葬祭殿』が有名ですが、この建物は1997年に日本人を含む多数の観光客が犠牲となった、忌まわしい『ルクソール事件』の舞台となった場所でもあります。

彼女は勿論歴とした女性ですが、ファラオと言う立場では男装し、為に彼女の殆どの像は男性として描かれて

います。しかし唯一メトロポリタン美術館には、女性として描かれた像があるのです。

ファラオと言う最高権力者の女性像が古代エジプトでどのように描かれているのか、女性として描かれた像の実物を是非見たいと願いを長いこと持ち続けてきました。因みに古代エジプトの女性像と言うのは、殆どが男の横で小さい姿で描かれており、ベルリン博物館の秘宝とも言われるネフェルティティの胸像は首から上だけです。

数年前、アメリカ東部のツアーに参加し、ついに憧れの像と対面することが出来ました。像の大きさは実物大ぐらい、今まで見た写真に比べ『可愛い!』と言うのが第一印象でした。成人する前の少女のような趣でしょうか、清楚で可憐な表情の中にも凛とした気品をたたえたまさに女性ファラオに相応しい姿に、深く感動を覚えました。

これら古代エジプトの貴重な品々は、今はメトロポリタンだけでなく世界各地に散らばっていますが、元々はエジプトの財産です。勿論エジプトは文明国ですから、『盗まれたものを盗み返せ』などとは言いませんが、返還要求は今も続いています。



コロナ禍での近況

桃井 清治 (S44政経、副会長(新任)、会計統括、西北会)

コロナ感染の状況は日々変化しているようですが、秋・冬にかけて更に第3波が予想されています。その上、インフルエンザの流行も心配されており、ますます巣ごもりを要請されそうです。この間のイベントは全て中止となり、もっぱらテレビでの野球、ゴルフ観戦や映画、ドラマなど。そして時々本を読んだりの生活が続いています。猛暑下ウオーキングも回避しています。しかし、この3ヶ月ほど前からは、3密のない野外でのゴルフだけは日頃のうっ憤を晴らすのに最適なと勝手に思い再開しています。

9月初めのホームコースでの月例コンペ(メンバー有志で集まった3組の小コンペ)で久しぶりに優勝でき、爽快な気分を味わいました。また、この10月に後期高齢者として初めての自動車免許更新時期となるため、事前に認知症検査を受けました。もう試験とか検査とかは無縁のもので、最近人の名前がすぐに出ないなど多少老化してきたかなとやや緊張しながら受けましたが、90点を獲得して無事パスし安堵しました。

このコロナ禍でも良いことも少なからずあったようです。もう一点小生は昔からパソコンなどのいわゆる“新しい機械”に弱くアナログ人間と呼ばれており、テレビ会議などはとても身近なものとしては感じられなかったが、仲間の支援でZoom会議なるものに連なることができたことはコロナ禍での快挙でした。

さらに9月初めの頃に、家のなかだけでストレスを感じていた孫の要求で娘家族と一緒に群馬県の川場にある“世田谷区健康村”に車で一泊旅行をしてきました。東京から脱出した訳ですが、世田谷から“群馬の世田谷”まで車に乗っており、他人と接触せずに移動したことになります。もっとも宿舎から出た観光スポットでは他人との接触はありましたが、久しぶりの旅行で気分転換になりました。

一日でも早くこんなことを気にせず自由に行動できる平穏な日常が戻ることを願ってやみません。



良き師、良き友

富塚 兆弥 (S41政経、副会長(新任)、組織拡充統括、イベント総括、キャロット会代表)

私が早稲田大学に入学して良かったことは良き師、良き友に会えたことです。

政経学部では語学クラスの副主任だった英文学の大内義一先生、クラブ活動では国文学の暉峻康隆先生、産業技術専門学校(現・芸術学校)では建築の吉阪隆正先生にお世話になりました。

特に吉阪先生は当時、産専の主任教授で、コンパにお招きして、終わった時「それでは私の家に行こう。皆さんに本物の酒をご馳走してやる。」とおっしゃられたので、ぞろぞろと百人町のご自宅まで皆で歩いて行き、ル・コルビジェが



吉阪先生(中央)

「これがタカ(吉阪先生の愛称)の建築だ」と感心した家の中に入れて貰い、炬燵を囲みながら本物のスコッチウイスキーを戴きました。建築というより、広く人

間の話がされました。

先生は日本建築学会会長を務められました偉大な教育者であったと思います。私は先生から「これからはグローバルでなければならない」との感化を受け、外資系の会社に転職した時、「先生、保証人になって下さい」とお願いした処、即座に署名、捺印してくれました。先生は誰にでも分け隔てなく接してくれました。

1969年理工学部では、軍事研究問題が契機となって、学園紛争のストライキに入った時の吉阪理工学部長の告示は、先生お得意の挿絵入りで半分のワインを入ったグラスを持った2人の男性が描かれており一方は「まだ半分もあるぞ」と言い、他方は「もう半分しかないや」と呟いているのです。同じ物を見るにしても、考え方は全く違うことを伝えたかったのだと思います。

吉阪先生は1980年12月17日逝去されました。ご遺灰の一部は早稲田大学山岳部員と共に隊長として行く予定だったK2の頂上に撒かれたとお聞きしています。

先生方の御恩に報いる為に、大学、校友、現役の学生の為此からは微力ながら力になればと思っております。

色鉛筆で「凡人？才能あり？」

榎 並 俊 一 (S46理工、副幹事長、広報統括幹事、きぬた会代表、ゴルフ部会代表)



北斎「波裏」模写

2年前、断捨離をしました。車もバイクも家も家具も全て捨て、引っ越してマンション生活になり、余計なものは置くスペースが全くなり、新しいものを買うと古いものは捨てるを得なくなりました。そんな中で新型コロナの流行が2020年に始まったのです。遠出をしたのは3月初旬に北海道にスキーに行ったきりで、それ以降は巣ごもり状態です。ゴルフ、飲み会、俳句会、稲門会など全てキャンセルとなり、スケジュールは真っ白になりました。

毎日家でTVばかり見ている仕方ないので、何かを始めようと思って周りを見渡した時、断捨離で唯一捨てなかつた色鉛筆のセットが書棚の上にあります。絵を描くのは嫌いではありませんでしたが、これまで積極的に描こうとは思いませんでした。

TVの番組で「プレバト」というのがあり、俳句やら消しゴムハンコやらに芸能人が挑戦しており、その中で色鉛

筆というのがあり、これなら私でも挑戦できるかと思い、5月初旬からやり始めました。過去に自分で撮った写真を題材にしたり、有名画家の作品を模写したり、PCのフリー写真を持ってきたりで、毎日一枚を目標に描き始めました。9月末で150日ほどになりますが、既に200枚を超えました。毎日フェイスブック(FB)にアップして友人たちから「いいね」をもらったり、批評してもらったりで楽しんでいます。特にFBで皆さんから好評だった2点を披露したいと思います。



◀釣り人



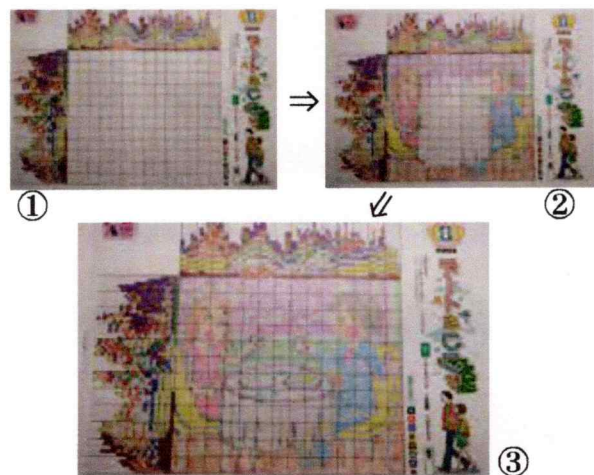
ハマっている事

齋 藤 正 憲 (S50理工、事務局長補佐、けやき会)

この原稿は9月中旬に書いています。

4月以降世田谷稲門会をはじめ集まりや飲み会を含め、感染防止の為に不要不急の外出を控え自宅に籠る事が多くなりました。そこで、ハマってしまったのが「イラストロジック」というパズルです。略称「イラロジ」。街の書店やコンビニの雑誌コーナーに並んでいる季刊誌で一冊丸ごとパズルの本です。数誌あるようですが一冊に数十問から百問掲載されていて、難易度も様々。一問解くのに数時間から数日間掛かり、巻頭や巻末にカラーバージョンもあります。解き方は与えられたヒントの数字の数だけタテ・ヨコの空欄のマス目を黒の色鉛筆で“論理的に”“連続的に”塗りつぶすだけ。塗りつぶされた黒のマス目で描かれた絵が解答の絵で、私はひたすらその絵が現れるまで一問一問日々挑戦しています。

今回は(社法)パズル検定協会監修で(株)ワークス社の「イラストロジ館Vol20」の中から多少難問系のカラーイラストロジに挑戦する事にしました。8色の色鉛筆を用意し、9月2日に挑戦を始めて(写真①)途中苦戦しながらも(写真②)9月14日に完成(写真③)しました。現れた絵は三択の解答



案の中の“レストラン”でした。

コロナが終息したらこのマイブームも終息するのでしょうか？解答まで辿り着いた時の達成感、充実感、満足感の心地よさが捨てきれず止められなくなるのでは、と危惧しています。この原稿が掲載され、発行される12月末には、このパズルの沼から脱出してコロナ前の生活に戻っている事を願います。



神田川歌詞紀行

篠崎 章子 (S52政経、事務局長補佐、千歳会)

コロナでの外出自粛中、夫と川沿いを歩くことにしました。鶯巣さんは(会報の編集委員です)多摩川を羽田から奥多摩湖まで数回に分けて歩いたそうです。

まず玉川上水を羽村の取水堰まで遡りました。次いで仙川が野川に合流するのを見届け、さらにその野川を多摩川が呑み込むのを目にし、迫力に圧倒されました。

神田川も井の頭公園の水源地から隅田川との合流地点まで踏破しました。途中、何度か川沿いの道が途切れ、その都度迂回しなければなりませんでしたが、めげずに道を探し歩き続けました。困ったのはトイレです。公共施設はどこも閉鎖、コンビニも軒並み使用禁止。頼りは公園や駅前の公衆トイレ…。と、トイレ探し行脚でもありました。

全行程を歩き通しわかったことがあります。「窓の下には神田川 三疊一間の小さな下宿」という歌詞に該当する建物は早稲田境界はおろか、もはやどこにも存在しないということです。それとおぼしき痕跡すら見当たりませんでした。横町の風呂屋が西早稲田にあった「安兵衛湯」だったというのは定説ですが、ちなみに「神田川」には歌

碑があり、全然関係ない中野区の末広橋付近に建っています。

さて、神田川でわたしのおすすめスポットは早稲田の裏手、面影橋の手前から目白のホテル椿山荘までのあたりです。高田馬場周辺のいかにも都市河川といった風景からは一変。水は澄み流れも豊かでなにより川岸の緑が濃く美しい。明治通りと新目白通りの交差点、都電が大きくカーブするところから川辺に降りる細い道があります。母校を訪ねた折にでも足を延ばされては如何でしょう。



面影橋の桜



ロビンソン・クルーソーを探して

牧 哲郎 (S43理工、幹事、部会統括、玉川会代表)

世田谷文学館で、この8月に「お家から行く世界探検！」というオンライン講演会がありました。参加者はZoomを利用して自宅のパソコン画面で講演を聴講します。Zoomは世田谷稲門会のビデオ会議で体験済みなので不安はありません。区の広報誌でこの講演会を知って、即刻、参加を申込みました。

講師は「物語を旅する」をテーマに世界各地を歩いている高橋大輔という探検家で、誰もが知ってる物語の舞台に実際に出掛けて、実在するものを探し出し検証するという活動をしています。

今回の講演会で取り上げた物語の一つに「ロビンソン漂流記」があります。嵐で難破した船が絶海の孤島に漂着し、そこで何十年間も、たった一人で暮らすという物語です。主人公のロビンソン・クルーソーには実在のモデルがいました。モデルの名をアレクサンダー・セルカークと言います。

講師はセルカークが漂着した南太平洋のロビンソン・クルーソー島という孤島まで行き、そこで彼が暮らした

痕跡を探します。講演会の参加者にもその探索過程を体験させるため、グーグルアースを利用して島の地形を映し出し、島のどこで暮らしていたか一緒に推理します。島は、伊豆大島の半分ほどの面積ですが、東西に細長く、周囲が断崖絶壁で、中央には険しい山がそびえる火山島です。雨風がしのげて水や食料が確保できる、どこかの船が通りかかったら救助を伝えることができる、そうした場所はどこか。ようやく見つけます。小さな川のそばで、海岸線から遠くなく、救助を知らせるための高台にも出やすい最適な場所がありました。講師はそこに目星をつけて実際に島へ何回も行き、発掘までして遂に古い焚火の後を見つけてます。そこには当時の航海に必要な計測器も埋まっていた。ここに間違いないと確信します。

この一連の記録はナショナルジオグラフィックに掲載され評判を呼び、講師による「ロビンソン・クルーソーを探して」(新潮文庫)という著書にもなりました。

探検や冒険という言葉に憧れた少年の頃に戻れたような、でも、そこから遠く離れてしまったような、そんな感慨にひたった真夏のオンライン講演会でした。



歌舞伎鑑賞

井上 文 (S45理工、幹事、LC統括、
地域サポ活統括、けやき会代表)

我が家では猫6匹を飼っているほか、殺処分を減らすための保護猫活動をお手伝いしているので、常時5~6匹の生まれたての野良の子猫を預かっています。こんなわけで、なかなか泊まりがけの旅行には出かけられず、たまに友人と食事をしたり、映画や演劇を見るのが楽しみになっています。

ところがこの夏は猛暑と新型コロナウイルスの影響でそれもままならず、なんとなく気分も落ち込みがちでした。そんなとき、中央稲門会の林原さんから歌舞伎公演のご案内をいただきました。毎年9月には、当代中村吉右衛門丈が、養父である初代吉右衛門にゆかりのある大役を演じる極めつけの興業、「秀山祭」があるのですが、今年はそれも中止かと諦めていました。「秀山(しゅうざん)」とは初代の俳号だそうです。

ところがコロナの影響でこの公演も大幅に見直されはしましたが、9月大歌舞伎として吉右衛門丈は第三部

に出演とのこと、それでもなかなか手に入らないチケットを送っていただくことができました。吉右衛門丈の大ファンである私は、9月19日土曜日、1年ぶりの歌舞伎鑑賞を花道のすぐ脇でしかも舞台から数列目で1時間半、じっくり楽しむことができました。演目も「引窓」！なかでも大好きなものの一つです。「引窓」とは今でいうトップライト、昔はこの開閉を下から紐で開け閉めしていたのでこう呼ぶようです。



①②中村吉右衛門 HP より

家屋の設備のひとつ「引窓」がお話しの重要なポイントとして、歌舞伎という伝統芸能のなかで活かされていることに興味を覚えます。

こんな大変な時期でも、素晴らしいひとときを過ごせたことは、ひとえに稲門会のつながりがあったからこそと有り難く思っております。

地震の経験

小口 浩一 (S45法、幹事、組織拡充担当、さくら会代表)



私は、神奈川県で物心がつき、小学校3年の夏までいた。神奈川県は地震が多いところであった。母方の祖父母も近所に住んでおり、色々な昔話を聞いた。地震の話でよく覚えているのは、関東大震災の話である。祖父母は当時、東京の山の手に住んでおり地震の直接の被害は受けなかった。地震で家が揺れても全然怖がらない人がいて、その人に問うと、「あのとき(関東大震災の時)にはあっと思ったら、家がつぶれていた。家が揺れているくらいなら大丈夫だ」と言ったとのことであった。そのことを聞いて私は「地震で家が揺れても大丈夫なんだ」と思うようになった。(もちろん大震災後、耐震強化に配慮した建築が行われたであろう。)そんな調子で、小学校以来過ごしてきた。

阪神淡路の時は、東京にいて、揺れが大きかったが、なんとも思わなかった。

東日本の時には、築地の勝関橋の北側の隅田川沿いの



東日本大震災(石巻の被害状況)

23階建てのビルの18階にいた。この時はものすごく揺れ、立ってられないくらいの揺れ方だった。私は高いビルだから大きく揺れるのだと思っていた。というのは2日前の3月9日の昼休みにも勤め先のビルが大きく揺れた地震があった。このとき私は近所の歯医者(5階建てのビルの3階)で治療を受けていたが、揺れは少しも感じなかった。さらにこのとき都庁のビルも大きく揺れ、エレベーターが全部止まった、ということを知った。

このような2日前の経験があったので、東日本大震災の当日は、大いに揺れたが、高いビルにいるからだろうと思っていた。しかし余震による大きな揺れは何回もあり、また電車も止まって、なかなか動かないとのことだった。

余震の大きな揺れが気持ち悪くもあり、午後5時前には歩いて用賀まで帰ろうと決断した。築地から銀座、新橋、虎ノ門、溜池、六本木を経て、渋谷に着いた。バスがほとんどおらず、東急の職員が、「道路が混雑しており三軒茶屋まで2時間」などと言っていた。そこでまた歩き始めた。玉川通りは車が渋滞して全く動いていなかった。結局、午後10時過ぎに用賀に着いたが、5時間半ほどかかった。



地域の防災自治

佐伯 基 憲 (S45法、幹事、23区支部担当、きぬた会)

私は、今住んでいるマンションの防災自治会長を務めており、設立以来今期で6期目になります。首都圏直下型地震等の大災害が発生した場合に備えて、これまでマンションの防災基本計画や各種実施細則の策定、区指定の避難所である近隣中学校での年2回の避難所運営訓練や、近隣自治会との情報交換等を行ってきましたが、現在はコロナの影響で、すべての集合・対面形式の活動を中止せざるを得ない状況です。

コロナは間違いなく世界を変え、日常の生活も変えていきますが、災害時の避難のあり方も大きく変わっていかざるを得ないと思います。

基本的な方向性は、「自助の強化」と「在宅避難の推奨」、そして新たな「地域協力拠点の整備」だと思います。

もともと世田谷区は90万人を超える人口から、指定の小中学校のスペースでは避難者全員を受け入れることは不可能だと推測していましたが、今般のコロナによるソーシャルディスタンスの確保などを勘案すると、使用可能スペースが半減することは明白であり、都や区の考え方は、自宅の損壊がさほど無ければ「出来る限り自宅



で退避する」ことを推奨する方向のようです。これにより、これまでの前提や想定を変えて、新たに整備しなくてはならない課題・難題が加わったこととなります。

コロナの影響で、新年度に入ってから、行政当局との話し合いの場を持つことも叶わず、備えはまだ不十分ですが、コロナも勘案して、非接触型体温計や消毒用品、マスクやフェースカバーなど、非常時用の備品を急遽買い増したところ です。

大地震への備えもコロナへの対応も、生きていく限り終わりのない営みですので、飽きず諦めず、粛々と進めて行きたいと考えています。



豪華な防空壕

濱野 千鶴子

(S50教育、幹事、事務局担当、LC担当、キャロット会)

これは、御歳80代半ば、着物の師匠の言葉です。『まず電気、水道、ガスはちゃんと通じているし、スーパーに行けば、食料もあるでしょう。第一焼夷弾が降ってくるわけでもないしね～。ステイホームは、豪華な防空壕に居る様なものと思っているの。この際だから、道元の正法眼蔵とカミュのベストをちゃんと読んでみるつもり。』

ひえ～、なんという達観、意識の高さ！

幼い頃とは言え、戦争を体験している世代の肝の据わりように脱帽でした。

一方私は、3月に体調を崩したこともあってどんよりとした気分で、コロナに関しては文字通り右往左往の日々を送っていました。

それでも、このまま無為に過ごしてはならじと、ささやかなルーティンを課しました。

①NHKのみんなの体操を一週間分録画し、毎日体操すること。ラジオ体操って正確に動こうと思うと、案外きついのです。日曜日はラジオ体操第一第二を続けるので、それなりに達成感？は味わえました。

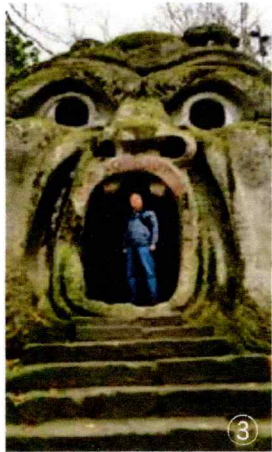
②リビングの抽斗を一杯ずつ整理すること。これは途中

で挫折しました。一旦は綺麗になったものの、元から入っていたものを移動したりした為、かえって混乱し、あれはどこだっけ？状態に・・・。

③更に脳トレに挑戦しました。まず、つづけ字、くずし字にトライ。けれど悲しいかな、学習能力、記憶力ともに低下の昨今、すぐろ覚えになり、身につけませんでした。それではと始めた数独。全く初心者でしたが、こちらはちょっとはまりました。今は中級レベルぐらいにはなったかと思っています。

①②③、どれも師匠には遠く及ばず、大したルーティンではありません。『豪華な防空壕』で過ごせることの有難さを噛みしめ、ステイホームを少しでも前向きに捉えるための自分なりの工夫でした。





2019年12月ボマルツオ(イタリア)にて

山田 昭 (S50政経、幹事、会計担当、西北会)

③ 2019年12月22日、ついに怪物公園「ボマルツオ」にたどり着いた。その日森の中の公園は人気もなく、厚く空を覆う雲の重みに耐えかねて染み出すように垂れこめた霧に覆われていた。思えば学生時代、早稲田の中央図書館で見つけた写真集で初めて見たときの衝撃から、半世紀近くが経過していた。

そこはローマから車で高速を使って2時間弱、長靴の脛の奥の山中にある。16世紀半ばに構築され、領主の死とともに忘れ去られて廃墟となった庭園が、20世紀半ばになって修復され蘇った。奇怪な神話の主人公たちが静寂な森の中に脈絡なく配置されており、不気味な形状の中にもよく見るとユーモラスな表情を見せ、不思議な雰囲気を出している。かつてサルバドール・ダリやジャン・コクトーらも訪れ、その後の彼らの作品も少なからず影響を受けたといわれている。

石の門(写真1)をくぐるとさっそく2頭のスフィンクス



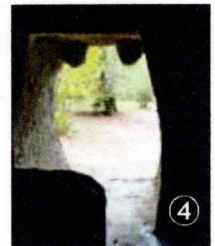
(写真2)が出迎える。ギザのスフィンクスとは異なり女性像となっているのは、創建主であったフランチェスコの、早逝した妻に対する想いか。



かつて某酒造メーカーのテレビコマーシャルにも使われた冥界の神オルクス(写真3)では、訪れた多くの人が大きく開かれた口の前で記念撮影をするが、その中(写真4)には石造りのテーブルと椅子が備

えられている。建造された当時この祠で思考にふけたのか、あるいはこの閉鎖された空間で同志と酒でも酌み交わしながら、密かに何事かを謀ったのか。上唇には「いかなる思考も疾走する」と書かれているのはイタリア人のユーモアか。

残念ながらこれ以上の紹介は紙面の制約から止めるが、興味ある方はネットで検索すると色々解説があるので、ご参照ください。



コロナ禍の中で思うこと

中島 史郎 (S59法、幹事、青年部会統括、さくら会)

いやはや大変な世の中になったものである。コロナ禍が起きるなどとは思もしなかった。私が代表世話人をさせて頂いている青年部会も、3月以来活動を中止している。主たる活動

が、平日の夜に居酒屋等に集まり、飲食をともにしながら歓談し、交流を図るといものなので、三密を避けられないのである。かと言って、オンラインで例会を行うのも難しそうで、どうしたものか活動再開につき模索中である。

さて、私の趣味であるトラッドジャズの話を見せて頂く。当稲門会の寺島先輩と同様に、私は、学生時代ニューオーリンズ・ジャズ・クラブに所属し、古いジャズ(モダンジャズ以前のトラッドジャズ)を研究・演奏していた。社会人になってから演奏活動とは無縁になったが、50代半ばに一念発起し、学生時代とは楽器を変え、ウッドベースに挑戦することにした(まさに50の手習いである)。

幸運にもクラブのOBが組むバンドに参加させて頂けることになり、下手なりにここ数年トラッドジャズの演奏を楽しませて頂いていた。

ところが、コロナ禍である。ライブハウスでクラスターが発生し、世間からはライブハウスは危険な場所と見なされ、ジャズの演奏も一時期完全に中止に追い込まれ、各種のジャズフェスティバルも軒並み中止になってしまった。ジャズの演奏は三密を伴いがちである。そして、トラッドジャズの場合、プレイヤーも聴きに来るお客さんも(コロナが心配となる)シニアの方が多い。人前での演奏の機会は激減し、そもそもバンドの練習にメンバーが集まらない。まさにトラッドジャズ界に氷河期がやって来た観がある。このまま消滅するのではないかといささか心配である(なにせ、プレイヤーも聴きに来るファンもシニアの方が多いので)。そうならないように、細々でも良いからトラッドジャズの演奏を続けて行きたい、この機会を捉えて練習に励み、コロナ禍が落ち着いた時には「あれ、ベース上手くなったね。」と言われるようになっていたい、と思う今日この頃である。



コロナ禍の応援部

池田 友彦 (S62文、幹事、青年部会担当、西北会)

最初は2月23日に衝撃が走りました。田中総長名で全ての体育各部の春合宿の中止の通達が届いたのです。1週間後から始まる春合宿に向けて宿やバスの手配等、準備は全て完了していました。しかし緊急事態と言うことで急遽全ての予約をキャンセルしました。

しかし衝撃は更に続きました。卒業式、入学式の中止。4月以降大学での全ての授業のオンライン化に伴い、新人勧誘も出来ない春。体育各部も試合どころか練習も全て禁止となりました。春は仕方ないが夏以降は大丈夫だろうと高を括っていたこの頃。唯一の望みは東京六大学野球が中止ではなく延期だったことでした。

個人練習することは出来ましたが、団体での練習は中々許可が出ません。そんな中6月末から諸々の条件は付きましたが、チアの複数名での練習が再開されました。そして夏に向けて少しずつ出来ることが増えてきました。しかし勿論試合の応援や各種ステージといった行事は皆無です。

7月、大きな出来事が2つありました。1つは8月中旬東京六大学野球春季リーグ戦の開催の決定です。しかし応

援は出来ません。それでも秋には応援が出来るかもしれないと考え、野球連盟と打合せに入りました。2つ目は体育各部の夏合宿の中止の決定です。春合宿同様準備は進めていましたが全てキャンセルしました。

8月、新入部員も含め殆どの部員がやっと集まってきました。9月からの秋季リーグ戦に向けての準備が始まりました。

そして9月、神宮球場で外野での応援が実現しました。通常とは異なる応援ですが学生達は精一杯応援しています。コロナ禍の中でも応援部員は「こんな時期でも出来る事、こんな時期だからこそ出来る事」をモットーに前向きに頑張っています。



11月8日(日)の早慶戦で慶応に連勝し、勝率10割で5年ぶり、46度目の優勝をしました。

皆さん応援ありがとうございました。今後とも応援部は力の限り応援を続けます。



世田谷LOVE

秋山 多美子 (H01教育、幹事、広報担当、青年部会担当)

世田谷区に住んで50年になります。小学校入学のタイミングで狛江から等々力に引っ越して来ました。入学前に小学校とのやり取りが必要だったようで、家の完成が間に合わないなか畳も入っていない状態で新しい生活が始まりました。ひとりっ子でしたが自分だけの部屋が出来たのがとても嬉しくて、引越し当日からひとりでワクワクしながら寝たものでした。狛江にいたときは押し入れに布団を引いて自分だけの空間を作っていたりと当時から独立心は旺盛だったようです。

当時の等々力はまだまだ田舎で野良犬も多く、小柄な私は野良犬が怖くて怖くてたまらず、家の前に犬がいるときは近所の人に助けを求め、犬を追い払ってもらってからやっとのことで家に帰った思い出があります。また都市ガスはまだ通っていませんでしたし、下水は浄化槽、さらに焼き芋や豆腐の屋台売りはもちろんのこと、消毒薬をリヤカーで売りに来るおじさんが来ていて、一升瓶を差し出すとそこに白い消毒薬を目一杯入れてくれたものです。何のために使ったのかは覚えていませんが衛生環境がまだまだだった昭和40年代はどこもそんな風景

だったのかもしれない。

中学校は深沢の学大附属、高校は池袋の豊島岡女子学園、大学は早稲田、会社は神保町とどンドン家から遠くなりましたがずっと等々力から通っていて、結婚して二子玉川に新居を構えてから20年経ちましたが未だ飽きることなく世田谷LOVE(大好き)な住民です。こうなったら定年後はもちろん、終の住処の老人ホームも世田谷で探しましょうか。



大学4年生、応援部チアリーダーだった頃



ある医療系学会の興味を引く記事の紹介

若林 克彦 (S41理工、幹事(新任)、組織拡充担当、西北会)

「医療ガバナンス学会」から最近送られてきた記事の題目が、「日本の科学力の低下」各国に劣る医学部の窮状”であり、その内容に注意を喚起されたので、以下に概要を紹介する。

世界保健機関(WHO)の新型コロナウイルス関連のデータベースに掲載された論文のうち日本人が筆頭著者であったものは56報であり、世界で17位であった。1位の中国(1158報)、2位の米国(1019報)とは比較に及ばず、韓国の72報や台湾の61報よりも少ない。未知なる感染症と戦う上で、各国の取り組みや経験を論文という形で世界で共有していくことは非常に重要だ。

日本の科学力を底上げするには、教育現場から国の政策まで大幅に改革する必要がある。その一翼を担っているのが大学医学部である。2017年度における国立大学運営費交付金の金額の高い上位41大学には、東京工業大学を除き、すべて医学部が存在する。

大学医学部は、今まさに大幅な改革を余儀なくされている。Withコロナ、そしてAfterコロナの時代に

ふさわしく社会のニーズに対応できる医師を養成する必要がある。そのためには、科学論文を書く力を鍛えていく必要がある。残念ながら大半の学部学生にとって科学論文を書くような機会がない。大学医学部はまるで「医師国家試験予備校」のようになっている。現在、実習に代わって行われているオンライン講義ではそのほとんどが国家試験問題演習だ。

その上、講義の出席を取られて学生の自由時間が奪われ、受け身になり、学問への興味が薄れている。科学者としての基本である好奇心は育っていない。これでは日本の科学力を支える人材は育たず、世界から遅れを取ってしまう。

医師は医学者でもあり、医学という学問を研究し、その発展に貢献する者だ。その功績は論文という形で世界にシェアされる。大学医学部は国家試験対策という画一的な教育を改め、医師かつ医学者を育てる方向にかじを切るべきだ。

新型コロナウイルスによって否応なしに改革を迫られた今こそ、高等教育とは何かを問い直し、根本的な改革をするチャンスだ。大学医学部の度胸と力量に日本の未来がかかっている。



コロナで断捨離一直線

花澤 隆 (S49理工、幹事(新任)、イベント担当、けやき会)

コロナ騒ぎで外出する機会が減り、出来た時間で私たち夫婦はいわゆる断捨離を始めた。それは見えるところにある不要なものを整理することから始まり、タンス、クローゼット、屋根裏収納へと拡大していった。

インターネットで調べると、断捨離とは「不要な物を断ち、捨て、物への執着から離れること」とある。それならと、妻からはちょっと厳しい方針が提案された。「一、思い出は心に残し物は捨てる」「一、将来役立つ、将来使うと考えて取っておいたものは捨てる」。

昔読んだ英語の小説を沢山持っていたが、「昔勉強したことを自慢してどうするの」という妻の一言で全部捨てることにした。退職後時間が出来たら勉強し直そうと思い持っていた、学生時代に買った物理や数学の「名著」、語学の教科書類も、「ゴルフや、飲み会に行ってもばかになりに」という一言で、我が家を去って

行った。

一番困ったのは、子供達の成長を記録したビデオテープだ。大量のビデオをこれからゆっくりと見るはずもない。そもそもVHSプレーヤーが動く保証がなく、テープも劣化して再生に耐えない可能性が高い。しかし、妻からは強く「保存」要求があり、理工学部卒業の私とその“技術力”を駆使して、全25巻ほどのVHSテープをDVDに収めることになった。電源コードもなく埃まみれになっていたプレーヤーを何とか動作させ、VHSカセットを分解して切れたテープをつなぐ。何とかかんとかミッションコンプリート。ダビングをやっている間にビデオの中身を部分的に見ることになった。そして気づかされた。良い父親を気取っていたが、結局子供達はビデオで垣間見た母親の苦勞で成長したのだ。仕事に託けて、子供のことは母親に任せきりにしていたなど。このDVDは妻の勲章。今後決して捨てられることはないだろう。

コロナで新たな挑戦



今年から幹事に加えていただきました石綿です。少しでもお役に立てればと思いますのでよろしくお願いいたします。

さて、コロナにより生活パターンは大きく変わりました。私の場合は、丁度、この4月からフルタイムで無くなったこともあり殆ど電車、バスに乗らなくなりました。そして、外出する際の中心は自転車です。自転車は意外に遠くまで行けるもので、千歳台の自宅から二子玉川、下北沢などは十分可能です。もう一つは歩くこと、公共交通を使わずにどこまで行動範囲を広げられるかへの挑戦です。結構一日1万歩を達成していました。歩くことは、今まで気がつかなかった神社、公園などの発見もあり面白いものです。もう一つの移動手段として馬にもチャレンジしてみました。馬とも楽しく会話でき、背筋も伸び体幹強化にも良さそうです。外乗も色々なスタイルで…。

また、Webミーティングの広まりによる新たな発見は世界中で行われるコンファレンスに参加しやすくなっ

石 綿 宏 (S53理工、幹事(新任)、部会担当、きぬた会)

たことです。例えば、今まではニューヨークに行かないと参加できなかったものがWebinarなので、時差さえ気にしなければ何にでも参加できます。これは、大きく世界を変えていますね。

進化論のように新たな状況に対応していくのが重要です。企業活動でも、出張、面談できないから困るというのではなく、ネットを活用しての新たな顧客開拓も考えることでしょう。今までのスタンダードにこだわる人と、変わったことを受け入れ対応していく人。さて、日本はどちらを選択していくのでしょうか。あるオランダ企業は完全に新たなスタンダードを基準に動き始めていて驚かされました。コロナ感染は大きな問題ですが、新たなスタンダードでは全ての人たちがゼロからの出発です。ネガティブな話が多いですが、大きなチャンスが目の前にあるというように前向きな考え方も持ちたいものです。



今どきの「大学生」の学力を考える

大 重 史 朗 (H03文、幹事(新任)、青年部会担当、西北会)



私は現在、大学や予備校で講師をしています。わが母校、早稲田大学は相変わらずハイレベルな受験難易度を誇っています。もちろん、早稲田の学生たちは勉強以外にもサークルやアルバイトなどに精を出し、これまでの「就職氷河期」などと言われた時代でも、高い就職率を出してきました。数年前、高田馬場駅近くにあるバーを訪れたところ、その店は早稲田を中心とした現役大学生が「バーテンダー」として運営していました。話をしても、知識や語彙力の高さが感じられ、「先輩」として誇らしく感じました。

一方、私が勤務している大学はほとんどが、あまり「お勉強」をしなくても入れる大学です。「教育困難校」とか「教育重点校」と表現されています。ある大学の講師控室で、講師を兼務している別の大学の専任教授で、早稲田ご出身の方とお話する機会がありました。その先

生は、「昔だったら『自分はあまり勉強が得意でないから高校出てすぐに就職する』とか『専門学校で腕に職を身につけよう』と考えていたはずの若者が、今は『大学生』になっている」と説明してくださいました。入試倍率が1倍に達せず、受験者全員が「合格」という大学が少なくありません。

確かに、勉強ばかりが人生の「すべて」ではありません。学生時代の経済学が「優」だったとしても、社会に出て優秀な営業マンになれるか否かは別問題でしょう。しかし、ある大学の英語の先生は、今や中学英語を復習しないと授業が成り立たない実情を話してくれました。私の授業の学生の中にも、ひらがなの「を」が書けない学生すらいます。1980年から90年ごろまでの予備校全盛時代、つまり浪人生が30万人近くいる、とされた時代は異常だったかもしれません。そうは言っても、もう少し、大学には、「少しは勉強しなければ入れない」という時代に戻らなければ、日本の国力低下に結びつくと感じています。



マンション再生

矢後 勝 洋 (S40政経、監事、ブロック会担当、さくら会)

私の住むマンションは築44年になる。玄関やドアなどの改修、塗装工事を怠らず、外観はまだ立派なものだが、内側はというと老朽化は否めない。とくに水回りの劣化はひどく、水漏れ事故も起きている。

そして何より心配なのは、今後30年以内に70%の確率で起こると予想される首都直下地震への備えだ。マンションができたのは旧耐震時代の昭和51年、現行の耐震基準に適合していないのである。

10月某日、集会室で耐震・設備劣化に関する住民説明会が開かれた。かねて依頼してあったコンサル会社の調査結果がまとめられ、住民への説明があった。「(大地震で)建物は倒壊・崩壊の危険があり、生命の失われる可能性がある」「耐震には外部からフレームを取りつける。4億円以上の費用がかかる」

出席者は約50人、古くから住んでいる60代以上の年配者が多い。かねて予想されていた事とはいえ、巨額な費用を聴かされて鉛を飲み込んだような表情になった。

総戸数200戸余、単純に計算すれば一戸200万円、それに劣化設備の更新費用が加わる。出席者からは「行政の補助はないのか」という声も上がった。

国に助成の枠組みができてはいるが、区レベルの補助額はマチマチらしい。インターネットで調べると、補助額が高いのは武蔵野市、千代田区、港区で、世田谷区は低く、それらの五分之一以下の限度額2,000万円である。

全国的に団地の老朽化が指摘され、子供の姿がすくなくなつた所も多い。家老い、人も老いる時代である。吾がマンションの再生にはなお10年以上の時間がかかりそうだ。



マンション再生協議会HPより



コロナウイルスの中で

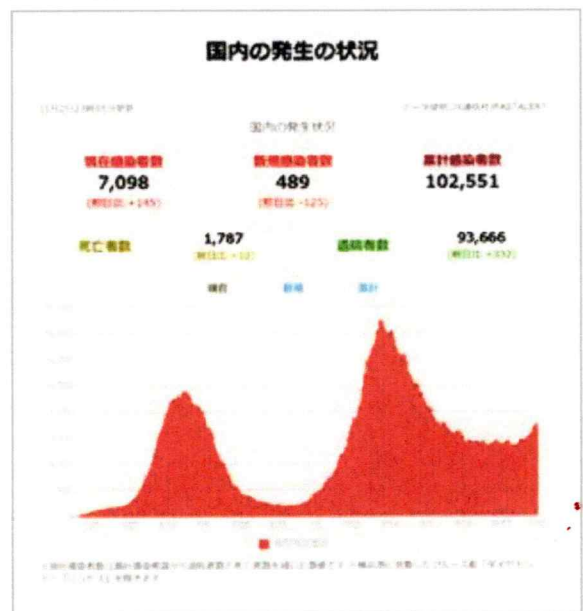
薄井 好 雄 (S47商、監事(新任)、千歳会)

皆さんも同じだと思いますが、私も新型コロナウイルスの影響で、生活が一変しました。

朝6時前に起床して、小田急線で新宿経由で埼京線に乗り、戸田駅まで行き、そこからバスで会社に通っていましたが、コロナウイルスがなかなか終息しないため、この8月からなれない在宅勤務となり、テレワーク仕事するようになりました。在宅勤務が慣れないのと、どこかに出かけられるような雰囲気でもなく、行きつけのお店も休みのところが多く、精神的にも肉体的にも疲れてしまいました。仕事仲間と直接会うこともなく、一人で仕事するのも大変でした。10月から在宅勤務も終了し、また通勤しての仕事となりました。

私は高校1年の夏に、肺結核になり、紆余曲折があつて、7年遅れで大学に入学しました。コロナウイルスは肺から重症化するとのこと、早大卒の等々力整骨院院長の岡本さんの助言により、毎日尺沢をやって、肺機能の強化に努めています。私もこの7月で78歳になり、少しボケが始まり、物忘れもひどくなりました。古い知人の上田忠

雄先生や河内文雄さん、水島 豊さんも死去されてさみしい思いをしています。気を取り直して、頑張りたいと思いますので、微力ですがよろしく願いいたします。



新型コロナウイルス感染症まとめHPより

世田谷稲門会役員名簿（令和2年度）

令和2年12月現在

| 役職 | 氏名 | 卒年・学部 | 担当 | 備考 |
|---------|--------|--------|--------------------|-------------|
| 会長（新任） | 旭 正勝 | 昭41・商 | | 商議員・けやき |
| 副会長・幹事長 | 國澤 俊一 | 昭43・理工 | | 商・代議員・きぬた |
| 事務局長 | 戸田 昇 | 昭47・政経 | | 商・代議員・千歳 |
| 副会長 | 真木 郁夫 | 昭40・理工 | ブロック会統括 | 商議員・玉川 |
| 副会長（新任） | 富塚 兆彌 | 昭41・政経 | 組織拡充統括・イベント統括 | 商・代議員・キャロット |
| 副会長（新任） | 桃井 清治 | 昭44・政経 | 会計統括 | 商・代議員・西北 |
| 副会長 | 林 馨 | 昭45・理工 | 事務局統括 | 商議員・玉川 |
| 副幹事長 | 榎並 俊一 | 昭46・理工 | 広報統括 | 代議員・きぬた |
| 事務局長補佐 | 斎藤 正憲 | 昭50・理工 | 事務局担当・ブロック会担当 | 代議員・けやき |
| 事務局長補佐 | 篠崎 章子 | 昭52・政経 | 事務局担当・地域サポート活動部会担当 | 代議員・千歳 |
| 幹事 | 牧 哲郎 | 昭43・理工 | 部会統括 | 代議員・玉川 |
| 幹事 | 井上 文 | 昭45・理工 | LC統括・地域サポート活動部会統括 | 代議員・けやき |
| 幹事 | 小口 浩一 | 昭45・法 | 組織拡充担当 | 代議員・さくら |
| 幹事 | 佐伯 基憲 | 昭45・法 | 23区支部担当 | 代議員・きぬた |
| 幹事 | 濱野 千鶴子 | 昭50・教育 | 事務局担当・LC担当 | キャロット |
| 幹事 | 山田 昭 | 昭50・政経 | 会計担当 | 代議員・西北 |
| 幹事 | 中島 史郎 | 昭59・法 | 青年部会統括 | 代議員・さくら |
| 幹事 | 池田 友彦 | 昭62・文 | 青年部会担当 | 商・代議員・西北 |
| 幹事 | 秋山 多美子 | 平01・教育 | 広報担当・青年部会担当 | 商・代議員 |
| 幹事（新任） | 若林 克彦 | 昭41・理工 | 組織拡充担当 | 西北 |
| 幹事（新任） | 花澤 隆 | 昭49・理工 | イベント担当 | けやき |
| 幹事（新任） | 石綿 宏 | 昭53・理工 | 部会担当 | きぬた |
| 幹事（新任） | 大重 史朗 | 平03・文 | 青年部会担当 | 西北 |
| 監事 | 矢後 勝洋 | 昭40・政経 | ブロック会担当 | 代議員・さくら |
| 監事 | 薄井 好雄 | 昭47・商 | | 商議員・千歳 |
| 顧問 | 柏 良子 | 昭31・政経 | | 商議員・西北 |
| 顧問 | 土倉 享一 | 昭34・政経 | | 商議員・千歳 |
| 顧問 | 麻生 卓司 | 昭34・政経 | | 西北 |
| 顧問 | 横田 吉明 | 昭38・商 | | 商議員・西北 |
| 顧問 | 鈴木 宏治 | 昭38・商 | | 商議員・千歳 |
| 顧問（常任） | 露木 茂 | 昭38・政経 | | 商議員・きぬた |
| 顧問 | 島田 實 | 昭40・法 | | 商議員・けやき |

LC：レディースクラブの略

寄付御礼

10月18日（日）に予定されていた稲門祭は中止になりましたが、皆様にお願ひした「稲門祭記念品」の販売額が **300,000 円**になりました。あわせて、奨学金として **208,000 円**のご寄付をいただき、合計で **508,000 円**を「校友会奨学金」として寄付いたしました。皆様の多大なるご協力に感謝いたします。

また、新型コロナウイルス感染の影響により修学の継続が困難になった学生に対する緊急支援金にも多くの方々のご協力をいただきました。重ねて厚くお礼申し上げます。

世田谷稲門会事務局：戸田 昇

— ブロック部会・特別部会・趣味の部会だより —

ブロック会

西北会

2020.9.20(日)に世話人6名でZoom会議を開催した。

その会議でコロナ禍での活動方針を検討。Zoom会議を各レベル(世話人会、サポーター会有志会員間)で開催し、組織の維持を図っていく。また、「西北だより」を発行し、活動内容を報告する仕組みとした。次のイベントとしては2021.1.7(木)に初詣(北沢八幡神社)&新年会(場所未定)を予定。
(桃井 清治/記)

けやき会 2020年秋季オンライン懇親会

去る10月3日(土)14時より、懇親会が初めてオンラインで開催されました。花澤世話人の丁寧なサポートとコロナ禍でストレスが溜まっている方が多いのか?(本部から参加頂いた3名を含め)総勢22名の賑やかな懇親会になりました。大正生まれで世田谷稲門会最年長の角田真一郎さんも参加され、お元気に近況報告をされておられました。

2時間の懇親会ででしたが 終わりの方ではかなりお酒がまわり、筆者も気持ちよくなっただけではなく、懇親会司令塔の花澤世話人も酔っぱらったのか?貴重なオンライン画面の写真用ボタンを押し間違い、記事に添えることが出来ずに、残念でした。皆様からは楽しかったとの声が多く寄せられ、12月の忘年懇親会も同様に開催する予定となっております。

(工藤 隆司/記)

その他のブロック会 報告事項無し

特別部会 青年部会、レディースクラブ、地域サポート活動部会 報告事項無し

趣味の部会

ゴルフ部会

コロナ禍のため2020年に予定していた4回の世田谷稲門会コンペは全て中止となりました。しかし、巣ごもりで運動不足解消のためゴルフをする機会を会員の皆さんに持っていただくため、プライベートラウンドとして開催することにしました。3密を避けるため、朝の集会は無し、表彰式もパーティも無しとして、スタート時間と組合せのみを部会側で設定したうえで、各組でバラバラにラウンドしていただくことにしました。10月15日(木)には都留CCで14名の方々に楽しんで頂きました。12月1日(火)には桜ヶ丘CCで32名の方々に楽しんでいただきました。早くコロナが収まって通常のコンペができるようになってほしいものです。
(榎並 俊一/記)

釣り部

Zoomでの釣り懇親会を10月18日(日)に6名の方が参加して開催しました。

久しぶりの再会を乾杯でスタート、近況報告や釣行予定など約1時間情報交換を楽しみました。(参加会員:中村、土田、成田、國澤、林、寺島)

コロナ禍でも皆さん、乗合で釣りを楽しんでおり、どの船宿もコロナ対策をしっかりと対応しているようです。

これからの釣行として話題になったのが、土田さんが新子安のだてまき丸から出船のマゴチ釣りの中村さんの金沢八景の黒川丸のワラサ釣りです。(ワラサの最新の情報をご存じの方は一報ください。)良い釣果が出たらZoomで報告していただく予定です。寺島も近々の平日、電車で金沢八景の山下丸からカワハギ釣りに行く予定です。

なお次回Zoomミーティングを11月22日(日)の18時から開催します。

(寺島 邦夫/記)

俳句部会

令和2年3月、4月は休会。5月通信句会、6月通常開催、7~10月は通信句会。9月は兼題「虫」、10月は兼題「秋刀魚」でした。高得点句を掲載します。
(富塚 兆彌/記)

| | | | |
|-----------------|------------|---------------|-----------|
| 老生に戻る日告げや燕の子 | 勝 (田中 勝) | 熱帯夜タオル蹴とぼす蒙古班 | 恵那 (榎並俊一) |
| 空の色映して咲きし手毬花 | 兆弥 (富塚兆彌) | カシノ咲く路面電車の残る町 | 雪子 (家井雪子) |
| 黙然と素麺吸る負け戦 | 二丁目 (暮田忠雄) | 秋風に押され万歩の遠出かな | 利水 (江原利次) |
| 草の葉にすがりて吹かる秋の蝶 | まもる (松尾 守) | 山門を潜る様子や松手入 | 牧羊 (津島晃一) |
| 地を這ひて流れる霧や替え極の森 | 広 (矢後勝洋) | | |

スポーツ観戦

校友会の方針に従い今年の観戦は全て中止といたします。大学野球もコロナの蔓延に悩まされて居ります。10月17日(土)からは収容人数を1万人に倍増し、早慶戦は全席指定で内野席のみ。前売り券も上限に達した場合当日券はなし。

ラグビーについても、インターネット販売のみとなります。「ticket rugby」と「チケットぴあ」のみです。コンビニでの直接購入、「チケットぴあ」での店頭購入、「カクタベリーショップ青山」での販売は、ありません。チケットは観戦終了後も座席番号が確認できるようチケットの半券やデータを最低14日間保管してください。また、前売券は予定枚数に達した場合当日券の販売はありません。
(小林 昭一郎/記)

その他の部会 報告事項無し

世田谷稲門会 会員異動状況 令和2年 11月30日現在 (正会員423名、準会員39名)

[新入正会員] 個人情報につき不掲載

| 氏名 | 卒年 | 学部 | ブロック |
|-------|-----|-------|-------|
| 北村 興二 | 昭49 | 文 | さくら |
| 金田 美咲 | 平27 | スポーツ科 | 玉川 |
| 小林 裕太 | 平18 | 社会学 | キャロット |

[退会会員]

| 氏名 | 卒年 | 学部 | ブロック |
|--------|-----|------|------|
| 高橋 昌久 | 昭45 | 理工 | きぬた |
| 水島 豊 | 昭40 | 政経 | |
| 東條 康祐 | 昭40 | 政経 | 西北 |
| 柳瀬 連太郎 | 昭58 | 社会学 | 西北 |
| 齊藤 治雄 | 昭38 | 法 | 西北 |
| 鶴田 孝俊 | 昭49 | 法 | 西北 |
| 郡山 昌也 | 平25 | 社会学研 | けやき |
| 古新 舜 | 平16 | 理工 | 西北 |
| 近藤 喜一郎 | 昭35 | 法 | けやき |

[退会準会員]

| 正会員名 | 準会員名 | 備考 | ブロック |
|-------|--------|----|------|
| 高橋 昌久 | 高橋 恵美子 | | きぬた |
| 若林 昭男 | 若林 浩子 | | さくら |

[住所変更・訂正]

| 氏名 | 卒年 | 学部 | ブロック |
|-------|-----|-----|------|
| 穴戸 和夫 | 昭54 | 商 | 西北 |
| 熊谷 慶紀 | 昭38 | 政経 | 西北 |
| 加藤 直人 | 平07 | 社会学 | 玉川 |
| 前原 祖彦 | 昭25 | 理工 | 西北 |

[その他変更・修正]

| 氏名 | 卒年 | 学部 | ブロック |
|-------|-----|-----|------|
| 加藤 直人 | 平07 | 社会学 | |

事務局からのお願い;

会員みなさまの入退会はもとより、転居の場合は郵便局への届け出だけではなく、世田谷稲門会事務局にも忘れずにご連絡ください。また、電話番号、e-mailアドレス、ブロック会の変更、名簿の修正事項も事務局まで必ずご連絡ください。

事務局担当 篠崎 章子 電話 03-3305-4650 e-mail;shinoshoko@gmail.com

編集後記

ご承知のとおり、状況下、残念なことに世田谷稲門会の各種行事はすべて中止となり、今号は通常の編成と異なっています。

幹事、監事の皆さんの思いのこもったエッセイが連なる充実した内容となりました。美しい写真やイラストともにお楽しみいただけたと思います。

否応なく強いられた「おうち時間」を充実させ、健康にすごされて無事に難局を乗り越えて、再び集い、会食をし、肩を組んで校歌を歌える日が一日もはやくくることを願っています。

十一月八日の東京六大学野球の早慶戦では早稲田の十季ぶり四十六回目の優勝が決まりました。世田谷稲門会の会員でもあられる小宮山監督、本当におめでとうございます。いつの日か、例会などでお話を伺えたらと思っています。

(兼子 信子/記)